

# 波紋

1999 3 MAR. No. 165

## 《永年会第一回ボーリング大会》

さる2月13日、森松本社向かいのロイヤルボウルにて記念すべき第一回大会が行われました。一昔前のブーム時に腕を磨いた方も多いたと思いますが、今回30名以上の参加者があり、中にはマイボールを持ち込んで大会にのぞむ気合いの入った人も。(2名ほど)。

ボーリングは体力、技術はもちろんのこと、いかに正確に投げつづけるかという精神的な部分にスコアが表れてきます。そして、各自投げ方にも個性が発揮されパワーでピンを倒す人、きれいにカーブをかけて狙う人など誰がどう投げるかも面白く、また、ストライク、スペアを獲った時の反応も普段では見られない一面が垣間見えることもあり楽しいものです。

そんな中、最初の構えからボールに左手を添えない独特の投球スタイルながらも上手いという、森松有数のボウラー坪井氏が最終ゲームをノーミスで終了させたプレーはまるでどれだけ遅い時間であってもきっちり仕事は片づける森松での坪井さんの姿を見たような気がしました。

2ゲームトータルのスコアで争われたこの大会、優勝の行方と、その「予想」に前日まで多くの情報が飛び交い参加していない方でも楽しめたのでは？

今回食事と、参加者全員への商品付きという充実した企画をしてくださった幹事の田井村さん村田さんご苦労様でした。次回はより多くの参加者とより豪華な商品で行われることを期待しています。

そして気になる結果は以下の通りです。

- 1位 : 坪井さん total 356点
- 2位 : 久保田さん total 356点(ハンデ60)
- 3位 : 岩間さん total 354点

森 直樹



## 『フリー・エージェント』

昨年来、会社内の状況が大きく変わったが、それ以上に、会社を取り囲む環境はそれにも増して変化しました。社会経済の落ち込みは止まる事なく悪化の一途です。原料メーカーは工場を閉鎖するし、キャレンダー・メーカーも稼働を20%程ストップする有り様です。これらの諸情況に対応して、モーリンググループも変化せざるをえません。

私は二つの改革をしたいと思います。

一つは、グループを統合、合併し、より機能化・効率化を計ることです。グループ内の重複業務を簡素化する事により、事務処理系統のスリム化を計ります。二つ目は、組織の改革です。得意先の多様化に合せ、担当部門を再編成したいと考えています。今後伸ばさなければならぬ部門、そして従来からある業務で今後も確保して行かねばならぬ部門をそれぞれ明確にし、販売主力、生産・開発の優先順位項目を全社内徹底したいと思います。二つを実行する上で、社員を力により十分に発揮してもらう制度が「フリー・エージェント」です。

各人が自分の得意とする職場で、存分に力を発揮してもらいたい。自分で好きな職場を選択してもらう制度です。

プロ野球の10年選手が、好きな球団を選ぶ事ができる制度と同じ形態を、社内に取り入れる事なのです。皆さん、楽しみにして下さい。

森 信之

森松トリオ  
「情報」

最近、フツと思ったことです。仕事から中国関連のテレビ番組があるとなんか見えてしまっているのですが、よく考えたら中国といっても自分が行った事があるのは上海周辺と香港だけで、あとはカメラの目を通してしか知らないんです。映像で知っている世界と自分の目で実際に見たことのある世界では、実際に見た事のある世界がいかに小さいか。そう考えると自分の経験した世界はとても狭いのだなあと思います。

情報があふれている現代社会の中で映像を通じた虚無の経験と実体験とが交錯して、ついつい勘違いをしている自分をふと感じてしまっています。しかし本当の自分の経験ではない「虚無の経験」もあって、今の自分が作られている事も確かでしょう。そういう意味ではメディアという「虚無の経験」は自分自身の考え方に大きな影響を与えていることもゆがめません。

今の時代では誰もが情報過多になり、いかにも情報通だと言わばかりの人々で街はあふれかえっている。頭だけ膨れ上がって一人で電車にも乗れない様な知識人がどこまで社会をささえていけるのだろうか。よくアメリカで暮らしたこともないのにアメリカ人のうん蓄を語っている人がいますが、どこまでそれが正しいかはかなり疑問です。もし、それを真に受けた人がいたら、どこかで大恥をかきかねないかもしれません。しかしそれは情報発信者に責任があるのではなく、その情報を消化できなかった方にあると私は考えます。入ってきた情報を自分の中で消化し、吸収し、自分なりのデータとして取りこまなければ、その価値は無し、もしくは消化不良でマインナスにもなりかねません。

知識だけで経験の少ない自分を「真の自分」として存在させていくには、情報のあふれる世の中で情報を整理し、自分なりの独自の考え方を常に持ち続けることが重要だと感じています。



情報をたくさんキャッチする事も重要ですが、それを自分の中でしっかりと消化し、吸収する事がなによりも重要だ、ということをお忘れなように。

牧野光昌

喜怒哀楽

～お祝いの言葉～

2月11日建国記念の祝日に当社の社員であった中野奈津子さんがめでたく結婚式をあげられました。

私は、披露宴のお誘いを頂きまして出席させて頂きましたが、私ごときの若輩者がスピーチの依頼を受けまして大変困りました。大先輩の方々に前にして精一杯のお祝いの

言葉を述べさせて頂きましたが、しっかり言えたかどうかは、少し不安です。

新郎新婦は、音楽隊を通じて結ばれることになった様でして、出席者の方々の多くが楽器を巧みに使いこなしながらお二人の門出を祝し、最後に新郎新婦二人の共演でオーバザレインボーを奏でる演出など、とても中の良いお二人が印象的でした。

そんな幸せなお二人を拝見し、ふと私の結婚式を思い出してしまいました。

私が結婚したのが平成元年でしたのもう10年も前の事になりますが、当時を思い起こしなからその時の自分と今の自分を比較し、いったい何が変わったのか、披露宴会場を後にした時に考えて見ました。

様相は、10年も経ちますとかなりおじさんになったと思いますが、なにより変わったと思うのが当時お付き合いしていた周りの人達と今現在お付き合いして頂いている回りの人達です。

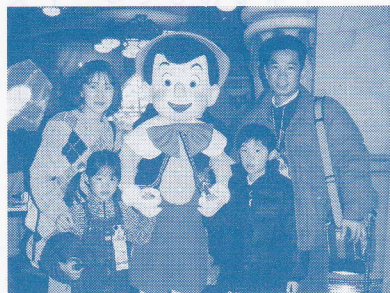
当時は、精神的にも金銭的にも余裕の無かったこともあり交際関係の枠が狭かったようにも思いますが結婚することにより家内の父母や姉妹を代表とする親戚の方々とのお付き合いが増え、新しい家族の仲間入りした長男（現8歳）や長女（現5歳）が生まれましたので私達夫婦のお付き合い以外に子供達のお付き合いがプラスされ、昔は会話も少なかった私の兄弟も全て結婚してその奥さん達との付き合いも生まれ、10年前は、そんなに仲の深くなかった友達との仲も深くなり、たくさん皆様とお付き合いさせて頂いていることが10年前とは、かなり変わった点だと気づきました。

このお付き合いを大切に10年後の自分と自分の回りの環境を想像しながら家路に辿り着きました。

それともうひとつ気づいたのが10年なんてあっという間に過ぎてしまうのでしっかりと計画を立てて生きていかないとけないんだなと言うことです。

最後に結婚式に祝電を頂きました仕入れ先様、お得意先様の皆様本当に有難う御座いました。

西田 聖一



# モーリンの マードンナ人?

職場を華やかにしてくれているパートさん紹介



名前：田口裕子  
 入社年月日：H 8.102  
 趣味：(主人の)ライブを見に行く、テレビドラマ鑑賞(リング〜最終章〜)  
 好きな食べ物：焼き肉、メロンパン  
 好きなタイプ：LUNA SEA(河村隆一) B'Z(松本さん)  
 よく見るテレビ番組：月曜〜土曜までのドラマ全部、音楽番組(THE 夜もヒッパレ)  
 健康のためやっていること：よく食べ、よく寝ること  
 好きなスポーツ：バドミントン  
 子どもの頃なりたかった仕事：パン屋さん



名前：森田育子  
 入社年月日：H 9.7.1  
 趣味：音楽をきくこと  
 特技：部屋の片づけ  
 好きな食べ物：お寿司、中華料理  
 好きなタイプ：関西の笑いがわかってくれる人  
 よく見るテレビ番組：旅行番組、世界ウルルン滞在記、グルメ番組  
 健康のためやっていること：早や寝早や起き  
 好きなスポーツ：プロ野球  
 子どもの頃なりたかった仕事：花屋さん



名前：佐久間さき子  
 入社年月日：H 9.7.1  
 趣味：家庭菜園  
 特技：ソフトボール  
 好きな食べ物：そば、ラーメン  
 好きなタイプ：やさしい人  
 よく見るテレビ番組：見つけ旅、クイズところ変れば、相撲  
 健康のためやっていること：自宅が四階なので、階段をなるべく使用しています  
 好きなスポーツ：マラソン、相撲  
 子どもの頃なりたかった仕事：パン屋



よう身体を鍛えておきたいです。

松井宣和

永年会スキー旅行に行ってきました。天候雪質とも最高のゲレンデ状態のパウダースノーで二日間滑ることができました。ゲレンデ数も多くてあきることなくスキーが楽しめました。日頃の運動不足のせいか滑りすぎて足が筋肉痛になり四つんばいになって階段を昇り降りして大変でした。宿には温泉があり、筋肉痛や疲労を回復することができました。熱めの湯かげんがとても心地よかったです。来年もまた永年会スキー旅行に参加したいので筋肉痛にならない

日時 1月15〜17日  
 場所 志賀高原ジャイアント



暮らしのエッセイ

1999年3月の行事予定

30日(日)	久保田さん誕生日	30日(日)	西口さん誕生日
27日(土)	第三土曜日休み	23日(火)	経営会議 15時～
24日(水)	生産会議 17時45分～	22日(月)	振替休日
21日(日)	春分の日	21日(日)	森(直)さん誕生日
18日(木)	法人会税経委員会 13時30分～	16日(火)	編集会議 17時45分～
15日(月)	西田さん誕生日	13日(土)	第二土曜日休み
12日(金)	中国情報会	9日(火)	菱和会 緑ヶ丘C.C.
8日(月)	誕生会	6日(土)	第一土曜日休み
3日(水)	21世紀クラブ	1日(月)	東海交通遺児 はげます会

# 中国へ本を送る運動

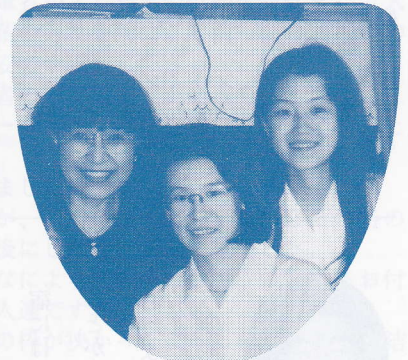
山西省太原市の王志紅さんの出身地に日本の本を送りたいと思います。

中国では日本語の本が少なく、日本語の教材不足のことです。

皆様のご家庭に眠っている絵本、雑誌、教科書等を御寄付して頂けたらと思います。

森松本社5Fにダンボール箱が用意してありますので宜しくお願い致します。

ちかさん 王さんの妹さん



代表 森 ちか

王さん

編集発行者  
森松株式会社

編集責任者  
服部 高久

1999年3月1日  
第165号



坂 幸広  
何事も健康が第一です。

巷ではインフルエンザが流行していますが森松には流行しないようによくぐれも注意して行きましょう。

早いもので私がモリマツに入社して一年がたちます。今までと全く違う業種でかなり戸惑っていたまま一年が過ぎてしまいました。少しずつでも早くビニールのことをわかるようにならなければと思っています。これからも一歩一歩ですが前進できるように努力して行きたいと思えます。皆さんよろしくご指導ねがいます。

編集後記